

第8節 高潮・津波の現状

第1項 高潮の現状

高潮とは

高潮とは、台風や低気圧の通過によって周辺の気圧が低下することにより水面が吸い上げられたり、風による吹き寄せによって水面が上昇する現象を表します。



S36.9第二室戸台風
和歌山市和歌浦片男波海岸付近



S25.9ジエソ台風
日高郡印南町印南付近 海岸

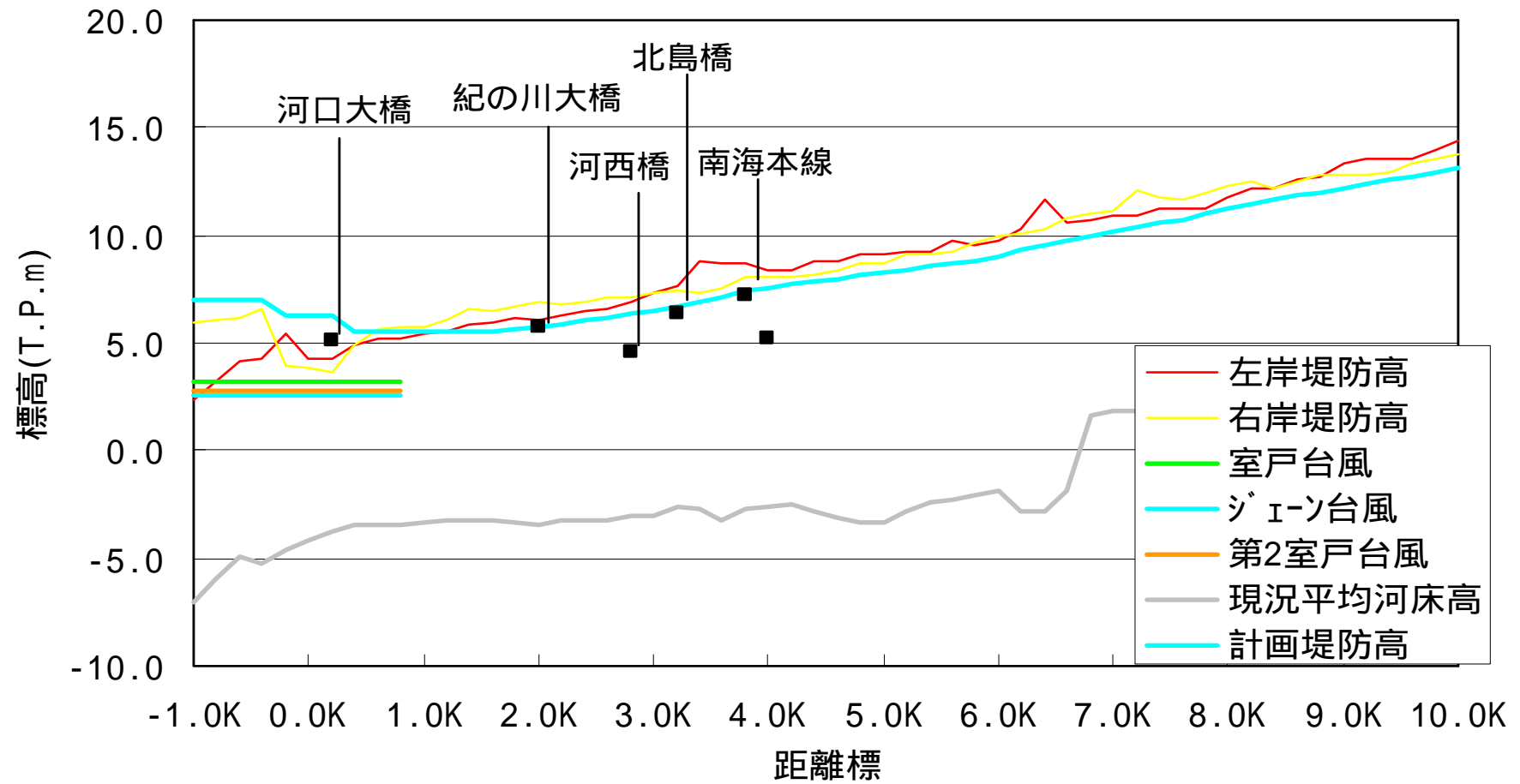
過去に発生した高潮(1)

過去、大阪湾に高潮をもたらせた主な台風は下表の通りです。

表からわかるように、室戸台風が最大の高潮を引き起こしています。他の台風時の高潮と比べると、その規模の大きさがわかります。

生起日	台風名	最高潮位		最大偏差	最低気圧		最大風速		
		時・分	T.P.cm	cm	時・分	hpa	時・分	風速m/s	風向
昭和9年9月21日	室戸台風	08.14	(320)	(292)	07.55	954.5	08.05	40以上	S
昭和25年9月3日	ジェーン台風	13.00	(255)	(237)	12.03	970.3	12.32	28.1	S
昭和36年9月16日	第2室戸台風	13.53	282	245	13.29	937.0	13.40	33.3	SSE
昭和39年9月25日	6420台風	07.12	242	183	06.20	987.4	07.36	19.0	SSW
昭和40年9月10日	6523台風	11.29	189	216	10.32	976.2	12.10	17.3	S
昭和50年8月23日	7506台風	06.07	194	112	05.40	977.0	06.50	18.9	SW
昭和54年9月30日	7916台風	23.20	175	139	22.56	972.2	23.30	17.6	WNW

過去に発生した高潮(2)



第2項 津波の現状

地震と津波

南海地震は、震源が深く地震の規模も大きかったため、大きな津波を引き起こしたといわれています。

また、南米大陸で発生した地震によって発生した津波が、地球を半周して来襲した例もあります。



白浜町白浜



田辺市新庄町付近

写真はチリ地震津波のもの

過去に発生した地震・津波

過去、和歌山県付近に被害をもたらした主な地震には下表のような地震があります。

南海トラフを震源とする南海地震は、マグニチュード8以上の大きな地震を起こしてきました。地震の周期はおよそ100～150年で発生しています。

事象	昭和東南海地震	昭和南海地震	吉野地震	チリ地震
発生日時	1944.12.7	1946.12.21	1952.7.18	1960.5.22
マグニチュード	7.9	8.0	6.8	8.5
津波高	0.5m (下津)	2.0m (和歌山)	-	-
深さ	30km	20km	60km	1.5km
主な被害 (人)	死者・行方不明 49	死者・行方不明 269	死者9 負傷136	死者・行方不明者 0

緊急用河川敷道路

阪神・淡路大震災を教訓に、紀の川では地震等の災害時の災害復旧車両の専用道路として復旧資材や救援物資の輸送路として緊急河川敷道路を整備しています。

